

平成5年4月23日制定

平成6年4月1日
平成7年4月1日
平成9年4月1日
平成10年4月1日
平成11年4月1日
平成16年4月1日
平成17年4月1日
平成18年4月1日
平成19年4月1日
平成23年4月1日
平成28年4月1日
平成29年4月1日
平成31年4月1日
令和4年4月1日

(目的)

(授業科目、授業の方法及び単位数)

3 単位の基準は次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習は、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実習は、30時間の授業をもって1単位とする。

(授業実施基準)

第3条 授業は、毎週2時間とし、1年間にわたって行う。

(修了要件)

第4条 本研究科修士課程又は博士前期課程の修了要件は、当該課程に2年以上在学し、次に掲げる各専攻区分に従い32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

区分	国文学専攻修士課程
選択	①日本言語文化論 広域言語文化論 表象文化論 } 2科目 4単位
	②演習 4科目 8単位 ※研究指導は、演習において行うので、指導教員が担当する演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを必ず履修すること。
	③特殊講義 4科目 8単位 ※①③の科目については、担当者の変更があれば同一科目を重複履修した場合も、単位を認定する。
	④特論
	⑤選択科目 6科目 12単位

	※指導教員以外の演習（事前に担当教員の了解を得ること。）、及び①③④から選択履修できる。④については、4科目8単位まで履修できるものとする。また、文学研究科の他専攻の講義科目から履修することもできる。（2科目4単位まで）
--	--

区分	文化財史料学専攻博士前期課程
選択	①演習 4科目 8単位 ※研究指導は、演習において行うので、指導教員が担当する演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを必ず履修すること。 ②特殊講義 8科目 16単位 ③特論 ④選択科目 4科目 8単位 ※②③の科目については、担当者の変更があれば同一科目を重複履修した場合も、単位を認定する。 指導教員以外の演習（事前に担当教員の了解を得ること。）、及び②③から選択履修できる。③については、4科目8単位まで履修できるものとする。また、文学研究科の他専攻の講義科目から履修することもできる。（2科目4単位まで）

区分	地理学専攻修士課程
選択	①演習 4科目 8単位 ※研究指導は、演習において行うので、指導教員が担当する演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを必ず履修すること。 ②特殊講義 6科目 12単位 ※「自然地理学分野」「人文地理学分野」「地誌学分野」の各分野からそれぞれ2科目選択履修するものとする。 ③特論 ④選択科目 12単位 ※②③の科目については、担当者の変更があれば同一科目を重複履修した場合も、単位を認定する。 指導教員以外の演習（事前に担当教員の了解を得ること。）、及び②③から選択履修できる。③については、4科目8単位まで履修できるものとする。また、文学研究科の他専攻の講義科目から履修することもできる。（2科目4単位まで）

2 本研究科博士後期課程の修了要件は、当該課程に3年以上在学し、次に掲げる区分に従い12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

区分	文化財史料学専攻博士後期課程
選択	特殊研究 6科目 12単位 ※研究指導は、指導教員による特殊研究などにおいて行う。したがって、12単位中には、原則として指導教員が担当する科目を複数年にわたって履修した単位を含むものとする。

（登録）

第5条 学生は、履修しようとする授業科目を指定の日までに研究科長に届け出なければならない。

（研究指導教員）

第6条 研究科委員会は、学生の研究課題に応じて研究指導教員を決定する。研究指導教員は演習担当教員とし、入学年度の4月に決定する。変更の必要のある場合は、研究科委員会で審議の上認めることがある。

（単位の認定）

第7条 各授業科目の単位修得の認定は、その授業科目の授業が終了した学期末又は学年末に行う。

2 前項の認定は、筆記試験、口頭試験又は研究報告により行う。

(成績の評価)

第8条 各授業科目の成績は、100点満点とし、その評価は、80点以上を優、79点から70点までを良、69点から60点を可、59点以下を不可とし、可以上を合格とする。

(成績の評価及び基準)

第8条の2 成績の評価基準は次のとおりとする。

成績	評価基準
優	当該科目の履修において、所期の目標を達成しているもの。
良	当該科目の履修において、不十分な点はあるものの、所期の目標を達成しているもの。
可	当該科目の履修において、不十分な点は多いものの、最低限の目標に達しているもの。
不可	当該科目の履修において、目標を達成していないもの。

学位論文については、その内容が、形式、論旨、研究対象に対する分析・評価などの点において適切であり、学位論文としての水準に達していて、研究上の成果が見出されるものを、合格とする。

(学位の授与)

第9条 修士課程又は博士前期課程において所定の単位を修得し、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格した者には修士の学位を授与する。

2 博士後期課程において所定の単位を修得し、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格した者には博士の学位を授与する。

(規則の改廃)

第10条 この規則の改廃は、本研究科委員会の議を経なければならない。

(その他)

第11条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は研究科委員会が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月23日から施行し、平成5年4月1日から適用する。

附 則 (平成6年4月1日)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年4月1日)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (平成9年4月1日)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、平成8年度以前の在學生については、従前の例による。

附 則 (平成10年4月1日)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、平成9年度以前の在學生については、従前の例による。

附 則 (平成11年4月1日)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年4月1日)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、平成15年度以前の在學生については、なお従前の例による。

附 則 (平成17年4月1日)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。ただし、平成16年度以前の在學生については、従前の例による。

附 則 (平成18年4月1日)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、平成17年度以前の在學生については、従前の例による。

附 則 (平成19年4月1日)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。ただし、平成18年度以前の在學生については、なお従前の例による。

附 則 (平成23年4月1日)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、平成22年度以前の在學生については、従前

の例による。

附 則（平成28年4月1日）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成27年度以前の在學生については、従前の例による。

附 則（平成29年4月1日）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成28年度以前の在學生については、従前の例による。

附 則（平成31年4月1日）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成30年度以前の在學生については、従前の例による。

附 則（令和4年4月1日）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

別表

大学院文学研究科授業科目

国文学専攻修士課程	
授業科目	単位数
日本言語文化論	2
広域言語文化論	2
表象文化論	2
上代文学演習Ⅰ	2
上代文学演習Ⅱ	2
上代文学演習Ⅲ	2
上代文学演習Ⅳ	2
中古文学演習Ⅰ	2
中古文学演習Ⅱ	2
中古文学演習Ⅲ	2
中古文学演習Ⅳ	2
中世文学演習Ⅰ	2
中世文学演習Ⅱ	2
中世文学演習Ⅲ	2
中世文学演習Ⅳ	2
近世文学演習Ⅰ	2
近世文学演習Ⅱ	2
近世文学演習Ⅲ	2
近世文学演習Ⅳ	2
近代文学演習Ⅰ	2
近代文学演習Ⅱ	2
近代文学演習Ⅲ	2
近代文学演習Ⅳ	2
現代文学演習Ⅰ	2
現代文学演習Ⅱ	2
現代文学演習Ⅲ	2
現代文学演習Ⅳ	2
古典語国語学演習Ⅰ	2
古典語国語学演習Ⅱ	2
古典語国語学演習Ⅲ	2
古典語国語学演習Ⅳ	2
現代語国語学演習Ⅰ	2
現代語国語学演習Ⅱ	2

現代語国語学演習Ⅲ	2
現代語国語学演習Ⅳ	2
古典散文特殊講義（基礎）	2
古典散文特殊講義（応用）	2
古典韻文特殊講義（基礎）	2
古典韻文特殊講義（応用）	2
近代文学論特殊講義（基礎）	2
近代文学論特殊講義（応用）	2
言語論特殊講義（基礎）	2
言語論特殊講義（応用）	2
上代文学特論	2
中古文学特論	2
中世文学特論	2
近世文学特論	2
書物特論	2
メディア文化特論	2
比較交流特論	2
和歌歌謡特論	2
近代小説特論	2
近代詩歌特論	2
現代文学特論	2
古典日本語特論	2
現代日本語特論	2
国文学特論	2
国語学特論	2

文化財史料学専攻博士前期課程	
授業科目	単位数
文献史学（日本史）演習Ⅰ	2
文献史学（日本史）演習Ⅱ	2
文献史学（日本史）演習Ⅲ	2
文献史学（日本史）演習Ⅳ	2
文献史学（外国史）演習Ⅰ	2
文献史学（外国史）演習Ⅱ	2
文献史学（外国史）演習Ⅲ	2
文献史学（外国史）演習Ⅳ	2
考古学演習Ⅰ	2
考古学演習Ⅱ	2
考古学演習Ⅲ	2
考古学演習Ⅳ	2
美術工芸史学演習Ⅰ	2
美術工芸史学演習Ⅱ	2
美術工芸史学演習Ⅲ	2
美術工芸史学演習Ⅳ	2
保存修復学演習Ⅰ	2
保存修復学演習Ⅱ	2
保存修復学演習Ⅲ	2
保存修復学演習Ⅳ	2
文献史学（日本史）特殊講義 A	2

文献史学（日本史）特殊講義 B	2
文献史学（日本史）特殊講義 C	2
文献史学（外国史）特殊講義	2
考古学特殊講義 A	2
考古学特殊講義 B	2
考古学特殊講義 C	2
美術工芸史学特殊講義	2
保存修復学特殊講義	2
情報処理特殊講義	2
文化財史料学特殊講義	2
文化財修復実習	2
文献史学特論	2
考古学特論	2
美術工芸史学特論	2
保存修復学特論	2

地理学専攻修士課程		
授業科目		単位数
自然地理学分野	自然地理学演習Ⅰ	2
	自然地理学演習Ⅱ	2
	自然地理学演習Ⅲ	2
	自然地理学演習Ⅳ	2
	自然地理学（地形）特殊講義	2
	自然地理学（気候）特殊講義	2
	自然地理学（環境）特殊講義	2
人文地理学分野	人文地理学演習Ⅰ	2
	人文地理学演習Ⅱ	2
	人文地理学演習Ⅲ	2
	人文地理学演習Ⅳ	2
	人文地理学（農村）特殊講義	2
	人文地理学（歴史）特殊講義	2
	人文地理学（文化）特殊講義	2
地誌学分野	地域・地誌学演習Ⅰ	2
	地域・地誌学演習Ⅱ	2
	地域・地誌学演習Ⅲ	2
	地域・地誌学演習Ⅳ	2
	地域・地誌学（日本）特殊講義	2
	地域・地誌学（先進地域）特殊講義	2
	地域・地誌学（発展途上地域）特殊講義	2
共通	地理情報学特殊講義	2
	自然地理学特論	2
	人文地理学特論	2
	地域・地誌学特論	2
	国内巡検計画Ⅰ	1
	国内巡検計画Ⅱ	1
	外国巡検計画Ⅰ	1
	外国巡検計画Ⅱ	1

文化財史料学専攻博士後期課程	
授業科目	単位数
日本史特殊研究Ⅰ	2
日本史特殊研究Ⅱ	2
日本史特殊研究Ⅲ	2
日本史特殊研究Ⅳ	2
日本史特殊研究Ⅴ	2
日本史特殊研究Ⅵ	2
美術工芸史特殊研究Ⅰ	2
美術工芸史特殊研究Ⅱ	2
美術工芸史特殊研究Ⅲ	2
美術工芸史特殊研究Ⅳ	2
考古学特殊研究Ⅰ	2
考古学特殊研究Ⅱ	2
考古学特殊研究Ⅲ	2
考古学特殊研究Ⅳ	2
保存修復学特殊研究Ⅰ	2
保存修復学特殊研究Ⅱ	2
史料学特殊研究Ⅰ	2
史料学特殊研究Ⅱ	2
国際史料学特殊研究Ⅰ	2
国際史料学特殊研究Ⅱ	2
国際史料学特殊研究Ⅲ	2
国際史料学特殊研究Ⅳ	2